

水稻・麦・大豆栽培情報 2月号

平成28年 2月 1日
J A 柳 川
南筑後普及指導センター

1 生育概況

平年より気温が高かったので生育は順調で、茎数は多く、草丈は高くなっています。しかし、1月下旬の積雪や降雨により、追肥作業が遅れている状況です。

2 土入れ・麦踏み

土入れ・麦踏みは、2月下旬頃までに3回程度行うのが基本ですが、土壌水分が高い状態で行うと土壌を締め付け生育を抑制することがありますので、土壌が十分乾燥した状態で行ってください。

3 雑草防除

ハーモニー75DF水和剤を散布しても、スズメノテッポウが残る場合、他に登録がある除草剤はありませんので、土入れにより雑草の生育を抑えて下さい。なお、広葉雑草が多い場合は、下記を参考に散布します。

使用薬剤	対象雑草	使用時期	10a 当たり使用量 (希釈水量)	使用回数	備考
アクチノール乳剤	一年生広葉雑草 (カラスノエンドウ)	穂ばらみ期まで (雑草生育初期)	100~200ml (70~100ℓ)	2回以内	高温時の散布は葉の黄化を生じるので注意する。
エコパートフロアブル	一年生広葉雑草 (ヤムガラ2~6節期)	小麦節間伸長開始期まで (広葉雑草 2~4 葉期)	50~100ml (100ℓ)	2回以内	白斑を生じることがあるが、生育には影響しない。
バサグラン液剤	一年生広葉雑草 (キンポウゲ類)	小麦の生育期 (雑草の3~6葉期) 収穫45日前まで	100~200ml (70~100ℓ)	1回	低温、曇天時の散布は、効果が劣ることがある。

4 その他

追肥をしていない場合は、早急に追肥を行ってください。追肥の効果を安定させるためには、土入れが有効です。追肥後は、なるべく早く土入れを行ってください。

農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベルを確認！
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！
- 3 散布後は必ず散布器具(タンク、ホース等)を洗浄！
- 4 防除履歴の正確な記帳！